

摂津峡 周辺

活性化プラン

平成27年3月



【はじめに】

せっつやばけい

- 摂津峡が「摂津耶馬溪」という名称で観光地として発見されたのは、今から100年程前の昭和初期です。それ以来、市民を中心に多くの方が訪れてきました。
- プラン策定に向けては、摂津峡周辺地域において、「環境保全」に取組みつつ、「観光振興」を図り、地域の活性化に結びつけることを目的に、現状と課題を分析し、検討してきました。
- 本プランは、中長期のあり方を示すとともに、実現可能なところから短期的な実現につなげるための基本構想であり、摂津峡周辺地域の「めざす姿」と取組みの「基本方向」を明らかにし、今後の具体的な取組方策の展開を図る「指針」とします。

【対象範囲】

- 摂津峡公園、萩谷総合公園、三好山、芥川緑地などを含む、市北部の摂津峡及び周辺地域一帯を「摂津峡周辺地域」とします。

1. 基本理念

摂津峡周辺地域における地域資源や魅力等の現状と課題を踏まえて、摂津峡周辺活性化の基本理念を以下のとおり設定します。

1 自然環境の保全を基調として、地域活性化や観光面で適切に利用する

摂津峡周辺地域の観光魅力の本質的な価値は、都市からこれだけ近いところに「自然環境」があることです。自然環境を壊さずに、その保全や管理を基本として、地域活性化や観光面で適切に利用します。

2 地域力や市民力を活かし、関係者が一体となって取り組む

摂津峡周辺地域の施設や資源等の管理は、さまざまな主体が関係しています。地域力や市民力も含めて関係者が一体となって摂津峡周辺地域の保全・活用に取組む体制や仕組みを構築します。

3 摂津峡周辺地域を歴史的視点から捉え、新しいイメージを打ち出す

摂津峡周辺地域の大きな魅力資源として「歴史」があります。特に、「芥川山城跡」のある三好山は、戦国時代における歴史的価値の高い山城として、高槻市のみならず全国に発信していける資源としての可能性が大きく、これを活かしながら新しいイメージを発信していきます。

4 長期的視点から、試行しながら段階的に取り組む

摂津峡周辺地域は非常に広大な区域で、私有地も多く、人の立ち入りや整備が容易ではない部分もたくさんあります。また、世の中のニーズも移ろいやすく、先を見通すことが難しい時代になっています。長期的な視点を持ちつつ、可能な取組みを試行しながら、段階的に取組んでいきます。

摂津峡周辺活性化プラン策定に向けての経過

アンケート調査

- 市民アンケート調査
(平成26年8～9月、配布数2,387件、回収数937件)
- 周辺都市住民アンケート調査
(平成26年9月、回収数1,245件)
- 来訪者アンケート調査
(平成26年8月、回収数42件)
- 来訪者(バーベキュー利用者)アンケート調査
(平成26年10～11月、回収数15件)

ヒアリング等の調査

- 地元自治会・関係団体
(平成26年8月～10月、7件
※ヒアリング、ワークショップ、現地視察を含む)
- 摂津峡周辺で活動している団体・事業者
(観光、自然、森林関係等)
(平成26年7月～平成27年1月、16件)
- 高槻市担当課
(平成26年6月～8月、7件)

会議等

- 庁内検討会議
(高槻市観光事業研究会) …… 4回
- 地元代表者等による会議 …… 2回
※産業振興審議会、及び審議会関係庁内会議において審議

先行的モデル事業

- 「摂津峡で山コン」実施
(平成26年11月22日、参加者20名)

2. 推進に向けて

推進体制

将来的には、地元住民、市民団体、事業者、行政等の関係する組織・団体が、摂津峡周辺活性化に向けて、情報共有、情報発信、協働・連携の場として「摂津峡周辺地域プラットフォーム」の形成をめざします。



● 庁内推進体制の確立

摂津峡周辺地域の活性化に向けては、事業内容や施設管理等が多岐にわたることから、観光を所管する部署だけでなく、全庁的な体制を確立します。

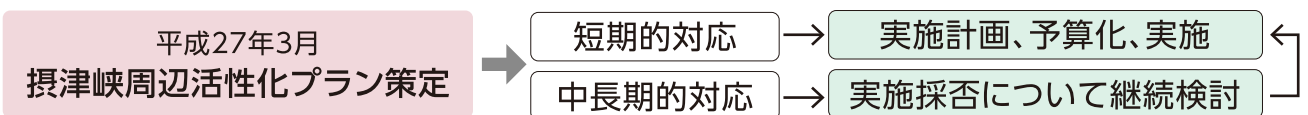
● 地元住民の連携促進

地元による地域づくりについて、今後、連携や協働を図ることで、効果を高めることが期待されます。さらに、基本方向の実行に向けた熟度を高めるために、地元住民が中心となって情報共有や合意形成を図っていくことが求められます。そのため、関係自治会等との連絡、調整を図るとともに、自治会間の連携を促進します。

● 市民団体、事業者等の連携促進

摂津峡周辺地域で活動する市民団体や、観光協会、観光関連事業者等による連携で、新たな楽しみ方の提案や、協働による摂津峡周辺地域の魅力発信が期待されます。そのため、関係者との連絡、調整を図り、情報発信やブランディングについて、行政が積極的に取り組むことで、関係者(市民団体、事業者等)が参加しやすい環境をつくります。

スケジュール・イメージ



① 短期的対応

基本方向に基づき、スピード感を持って対応します。また、短期的かつ単独の課で実行可能な事業については、必要に応じて、詳細な調査・検討や具体的計画策定の後、予算化を進め、事業実施に移します。

② 中長期的対応

関係課が連携して取り組む事業や、関係者の同意・機運の高まりが必要な事業、大規模な予算措置が必要な事業などについては、引き続き、十分な議論や検討が必要であることから、中長期的な視点で取り組みます。

3.基本方向及び摂津峡周辺地

基本方向 魅力を高める

1 体験プログラムの充実支援

現在、摂津峡周辺地域で自然、森林、農業、歴史などの体験プログラムが、地元団体やNPOなどによって実施されていますが、年間を通じて摂津峡周辺地域が楽しめるように、実施団体の連携を促進したり、市民参画・提案型の行事を増やすなど、さらなる充実化を支援します。



2 散策ルートの設定と整備

摂津峡周辺地域の魅力資源や施設を結び、それらを快適かつ安全に周遊できる、距離別、テーマ別など各種散策ルートの設定と、そのための遊歩道整備を検討します。

3 歴史的資源の活用

三好山の芥川山城跡をおもな対象とし、ソフト・ハード両面からの保全・活用及び整備の可能性について検討した上で、摂津峡周辺地域及び高槻市の新しい歴史的シンボルとして中長期的な視点から活用を進めます。

4 周辺地区における観光振興の支援

摂津峡周辺地域には、農業や食、風景、歴史などの魅力資源が多く存在するため、摂津峡周辺活性化と相乗効果が出るような観光振興の取組みについて支援を行います。

基本方向 環境を保全し、改善する

1 自然環境の保全

摂津峡周辺地域の魅力の源泉である、森林や水辺等の「自然環境」について、適正な管理を行うとともに、景観上問題となる老朽化した建物等への対応を進めます。

2 不適切な利用の改善

ごみの放置やマナー違反など不適切な利用が問題になっており、それに対応するために、利用のルールづくりや啓発活動などの取組みを進めます。

3 快適に過ごすためのインフラ整備

摂津峡周辺地域で、観光バリアフリーの視点も含めて、誰もが快適に過ごせるように案内サインやトイレ、休憩所、ベンチ等の最低限のインフラ整備を検討します。

4 アクセス環境の整備

摂津峡周辺地域へ行きやすいように、JR高槻駅からのバス便の利便性向上や新名神高速道路のインターチェンジからのアクセス道や案内サインの整備、摂津峡周辺地域での駐車場充実等について検討します。



域のめざす姿

摂津峡周辺地域のめざす姿

将来イメージ

摂津峡周辺地域のめざす姿について、8つの将来イメージとして描いています。

想定するおもなターゲット

- 高槻市民を基本に、京阪神地域の住民、さらには全国のファンに広がっていきます
- 観光マナーを守り、適切な自然利用を志向する人、さらには歴史や生活文化に関心の高い人にも広がっていきます。

イメージ1 歩く・巡る「健康ウォーキング」の聖地に

- 摂津峡、芥川緑地、塚脇・城山、三好山、原、萩谷総合公園などの間が、より移動しやすいように遊歩道や案内サインが整備されています。
- 水辺、渓谷、森林、農村など多様な環境を、巡りながら歩くコースが充実し、毎日、ウォーカーたちで賑わっています。



イメージ2 季節ごとの魅力体験プログラムを毎週開催

- 摂津峡、芥川緑地、塚脇・城山、三好山、原、萩谷総合公園などで、地元団体やNPOなどさまざまな主体が、自然・生き物・歴史・健康・農業・食などの魅力的な体験プログラムを四季を通じて実施しています。
- それらの情報がリアルタイムにポータルサイト等で発信され、どのプログラムも多くの参加者でにぎわっています。



イメージ3 市民参画・提案型プログラムが人気

- 市民が森林の管理や、水辺の清掃など維持管理に参画するプログラムや、摂津峡公園などを舞台に、市民団体等が音楽やフリーマーケット、料理などのイベントを提案し、開催するプログラムが人気を博しています。



イメージ4 マナーよしの本格的バーベキューの先進地に

- バーベキューのできるエリアを設定し、周辺住民や環境に配慮したマナーのよい、本格的なバーベキューが行われています。
- 川辺、森の中、キャンプ場など多様な場所で、地元産の農産物等を食材にした摂津峡ならではのバーベキュー場が設置され、地域経済への波及効果もあります。



基本理念を踏まえて、摂津峡周辺地域のめざす姿について、将来イメージ、おもな来訪ターゲットを設定します。

8つの将来イメージ

イメージ5 青少年キャンプ場が野外体験の人気スポットに

- 青少年キャンプ場の自然体験学習等のメニューが、運動や健康、食などの視点も取り入れ、子ども向け、ファミリー向け、女子向け、中高年向け、高齢者向けなど世代ごとに充実しています。
- それらが効果的に発信されることにより、休日平日を問わず、集客力が上がりました。



イメージ6 三好山が全国的に有名な歴史スポットに

- 戦国時代の山城である芥川山城跡の歴史的価値が社会的に広まり、頂上に安全に登れる遊歩道やサイン等が整備され、地元などの管理団体等により適正に維持管理されています。
- 山城や森林を楽しく学べるプログラムや案内人も配置され、また、三好長慶ゆかりの地との交流も活発に行われ、関西のみならず全国から歴史ファンなどが集まっており、市民の誇りになっています。



イメージ7 地元の農産物や加工品・食などが人気

- 来訪者が増えることによって、地元主体で農産物の販売や、オリジナルの加工品開発、料理やスイーツなど飲食の提供などが進み、地域経済へも波及してきました。
- 来訪者の人気に伴って、さらに生産力や製造力、ブランド力を高めていく予定です。



イメージ8 アクセス環境がよくなり市内・遠方から来訪

- JR高槻駅からのバス便の路線が改良され、駅からのアクセスがよくなりました。
- 摂津峡周辺地域の駐車場や案内サインが強化され、また新名神高速道路からのアクセス道も整備されました。車でのアクセスもしやすくなり、市内のみならず、遠方からの来訪者も多くなりました。



※写真はイメージです



基本方向 情報をわかりやすく伝える

① PRツール等の作成

摂津峡周辺地域を魅力的に伝えたり、発信するための案内ガイドやマップ、リーフレット、ポスター等を作成します。



② インターネットを活用した情報発信

情報発信力を高めるために、摂津峡周辺地域に関わる各種webサイトの全体の窓口となるサイト(ポータルサイト)をインターネット上に構築するとともに、facebookなどSNSの利用を進めます。

③ メディア関係者等への情報提供・調整

メディアを活用した情報発信や誘客のため、新聞・雑誌・ミニコミなどのメディアや鉄道会社・旅行代理店等への情報提供・調整を行います。

④ ブランディング戦略の策定と推進

摂津峡周辺地域を魅力的に発信し、かつ印象づけるために、さらに関係者の取組み推進に対する求心力を高めるために、ロゴマークやスローガンの設定等、ビジュアルなコンセプトも含んだブランディング戦略を検討します。

基本方向 マネジメント力を高める

① 管理運営体制の充実

摂津峡周辺活性化に関わる主体が一堂に集まり、全体の運営を円滑かつ活発に行うために、管理運営体制の充実化を図ります。

② 地域間の連携強化

摂津峡周辺の地域間における互いの情報共有と連携を強化する仕組みをつくります。上記の管理運営体制との十分な連携も図ります。



③ 案内人等の人材育成支援

魅力体験プログラムを担う案内人やインストラクターなどの人材育成について、講座や実施研修等により継続的に支援します。



4. シンボルプロジェクト

シンボル
プロジェクト

摂津峡公園桜広場・キャンプ場利用促進プロジェクト

屋外ステージを含む「桜広場」の有効活用を図るとともに、「青少年キャンプ場」の今の目的と機能を活かしつつ、より市民にとって、さらに観光にとって、一般利用しやすいアウトドア拠点をめざします。

取組みのイメージ例

- 屋外ステージを含む桜広場の活用促進
フリーマーケットや音楽イベントなど屋外ステージ利用のPRと仕掛けづくり
- 青少年キャンプ場における体験プログラムの充実化
子ども向け、ファミリー向け、女性向け、中高年向け高齢者向けなど、対象ごとの体験プログラムを提供、教育関連NPOとの連携
- キャンプリーダーの活躍の機会の充実
キャンプリーダー(現役・OB)による企画・運営会議の開催
- 予約システムの充実
屋外ステージやキャンプ場のインターネット・FAXIによる申込システムの整備 等

シンボル
プロジェクト

快適バーベキュー環境プロジェクト

摂津峡の渓谷エリア等で課題となっているバーベキュー行為について、より適切な場所と方法によるバーベキューのあり方や、ルールづくり等を検討し、バーベキュー先進地をめざします。

取組みのイメージ例

- バーベキュー区域の設定の検討
条例等によるルールづくり 等
- 有料(優良)バーベキュー場の位置づけと整備の検討
 - 民間施設との連携
 - 新規整備の検討
(芥川緑地、摂津峡公園桜広場、その他民間施設)
 - 青少年キャンプ場の柔軟な利用についての検討 等
- バーベキュー先進地を目指した啓発・誘導・取組み推進
 - チラシの配布、警備員等による巡回
 - インストラクター養成
 - バーベキューイベント等の開催 等

シンボル
プロジェクト

三好山(芥川山城)活用プロジェクト

三好山(芥川山城)の歴史的価値を再認識し、観光的利用について地域全体の機運を高め、来訪者を受け入れる環境の整備を進めます。

取組みのイメージ例

- 整備基本計画の策定の検討
国指定史跡の可能性の検討、文化財、自然、地籍関連の調査
- 遊歩道、案内サインの検討
- 頂上の整備の検討
- 案内人の育成支援
- 観光事業者との連携によるツアープログラムの開催支援
- 森林の適正管理
 - 森林系NPO等との連携
- 取組み機運の醸成
 - 学習プログラムや発信イベントの開催 等